

盛岡（写真上）・旭川（写真下）出張



2020年11月16日（月曜日）、今年3回目の盛岡出張です。↑前回の反省を生かして御客様に良材をご購入して頂く為に積極的に市に参加しました。コロナの為に日本全国が閉塞状況に落ち込んでいるにも関わらず、広葉樹良質材の原木価格は天井知らずの状況でした。



2020年11月20日に旭川にて開催された広葉樹市↑は東北よりさらに深刻な状況でした。東北の広葉樹の供給状況と北海道の同状況を比較すると、産地の生産環境が違うので軽率なお話はできませんが北海道の森林の方が深刻で有ることは間違い無いと思います。その理由は10月と11月両月に開催される両方の広葉樹市に参加することは、日程上『東北は同じ週の木曜日・北海道は同じ週の金曜日が市です』難しいですが、今年は二つの市に参加してきました。結論は（北海道の有力なメーカーさんも参加されていました）下記だと思います。

北海道には良材の道産広葉樹『ナラ・タモ』は有りません。

東北材 入荷予定材



ナラ 400×42



ナラ 400×44



ナラ 320×40



ナラ 220×46



ナラ 240×44



ナラ 240×52



ナラ 220×40



ナラ 210×44



イチョウ 460×46



クリ 400×42



クリ 240×42



サクラ 220×34



ホオ 220×50



シュウリ 220×26~30



ブナ 220×36



シナ 240×42

上記は2020年11月19日盛岡にて開催された広葉樹の市で落札した原木です。いずれの原木も接戦で入手しました。現時点『アメリカに出掛けられない・ロシア材が入ってこない・

全世界的に広葉樹の価格が高騰している』で出来る事を果たしたと思っています。

弊社の在庫と比較しても、品質的に遜色のない仕入れが出来たと思っています。



セン 2 本 (220×52.54)



タモ 400×40 ロシア産



タモ 360×38 北海道産



タモ 440×40 北海道産

上記の5枚の写真は、2020年11月20日に開催された旭川の銘木市にて主に仕入れした原木です。盛岡の市では仕入れできない樹種を仕入れしてきました。センとタモが主な仕入れです。2020年11月現在、世界中はコロナの為にマーケットは混乱（価格の乱高下）していますが、アメリカ産材のホワイトオーク材が特に暴騰しています。



タモ 3本口

来年2021年以降服部商店は、広葉樹原料の値上がりに対して、分散して材を使って頂ける様提案します。北海道産材・東北材・アメリカ材（弊社製材）・アメリカ材（現地挽き）・ヨーロッパ材（ビーチ）を上手く活用すれば、現在の日本の閉塞状況でも受注が可能だと思います。

服部商店からのお歳暮

**皆んなで盛り上げましょう。
見直されている天然木の効果と可能性**

期間：2020年12月1日～12月31日

お得意先様向けのキャンペーン

毎週先着にて、30,000円以上（木材代金のみ・消費税・諸経費を除いて）御買い上げの7名様に、アマゾンギフト券5,000円を差し上げます。

新規のお客様限定のキャンペーンを実施

50,000円（木材代金のみ・消費税・諸経費を除いて）以上お買い上げの全員に、アマゾンギフト券10,000円を差し上げます。

